

富山高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	英語表現 I	
科目基礎情報						
科目番号	0019		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質化学工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	My Way English Expression I (三省堂)・ワークブック (三省堂)・ブレイクスルー総合英語 (美誠社)・スタディサプリ5教科・スタディサプリEnglish 4 技能					
担当教員	陳 璐					
到達目標						
ア 与えられた話題について簡潔な英語を用いて話すことができる。 イ 読み手や目的に応じて簡潔な英文を書くことができる。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを簡潔な英語でまとめ、口頭発表することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	英語運用の基礎となる要素、知識、規則(語、連語、慣用表現、文構造、文法事項、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながり、等)を認識している。		英語運用の基礎となる要素、知識、規則(語、連語、慣用表現、文構造、文法事項、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながり、等)を概ね認識している。		英語運用の基礎となる要素、知識、規則(語、連語、慣用表現、文構造、文法事項、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながり、等)を認識していない。	
評価項目2	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身につけている。		英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢をおおむね身につけている。		英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢をおおむね身につけていない。	
評価項目3	ある程度の確さ、流暢さ、即応性を持って、社会性のある話題や自らの専門に関する基礎的な情報や考えなどを理解したり伝えたりすることができる。		ある程度の確さ、流暢さ、即応性を持って、社会性のある話題や自らの専門に関する基礎的な情報や考えなどを理解したり伝えたりすることが概ねできる。		ある程度の確さ、流暢さ、即応性のある話題や自らの専門に関する基礎的な情報や考えなどを理解したり伝えたりすることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
ディプロマポリシー 3						
教育方法等						
概要	中学校での既習の英文法を整理した上で、講義と演習を通じて、英文の基本的な仕組みと語彙の活用法を理解する。身近な話題に関する英語の表現力を身に付ける。					
授業の進め方・方法	講義及び演習 事前に行う準備学習：前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと (授業外学習・事前) 授業内容を予習しておく。 (授業外学習・事後) 授業内容の復習を行い、課題を完成すること					
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 辞書を持参すること。 予習・復習を必ず行うこと。 提出物を期限までに必ず提出すること。 授業計画は学生の理解度に応じて変更する場合がある。 長期休業中課題は別途指示する。 本科目では、50点上の評価で単位を認定する。評価が50点未満の者は、すべての課題を完了した上で願出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を50点とする。 					
授業の属性・履修上の区分						
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
必履修						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	授業概要説明、自己紹介		
		2週	Lesson 1 現在形/現在進行形	文法導入。		
		3週	Lesson 2 過去形/過去進行形	過去形		
		4週	Lesson 3 未来表現	未来表現will/be going to		
		5週	Lesson 4 現在完了形 1	完了・結果/継続		
		6週	Lesson 5 現在完了形 2	経験/過去完了形		
		7週	Lesson 6 助動詞 1	助動詞導入。許可・可能・義務		
		8週	Lesson 7 助動詞 2	助動詞 (推量)		
	2ndQ	9週	前期中間試験		学習範囲の試験を行う。	
		10週	中間試験答案返却、レビュー		中間試験の解説を理解し、理解度の低い項目の復習を行う。	

後期		11週	Lesson 8 受動態 1	受動態導入。基本の形/by以外の前置詞		
		12週	Lesson 9 受動態 2	助動詞 + 受動態/SVOO・SVOC		
		13週	Lesson 10 不定詞 1	不定詞導入。名詞的用法		
		14週	Lesson 11 不定詞 2	副詞的用法/形容詞的用法		
		15週	前期期末試験	学習範囲の試験を行う。		
		16週	期末試験答案返却、復習、アンケート	期末試験の解説を理解し、理解度の低い項目の復習を行う。授業アンケートを行う。		
	3rdQ		1週	Lesson 12 動名詞	動名詞	
			2週	Lesson 13 分詞 1	限定用法	
			3週	Lesson 14 分詞 2	補語となる分詞/分詞構文	
			4週	Lesson 15 知覚動詞/使役動詞	知覚動詞/使役動詞	
			5週	Lesson 16 比較 1	比較級/最上級	
			6週	Lesson 17 比較 2	as...as~/最上を表す表現	
			7週	Lesson 18 関係代名詞 1	主格/目的格と省略	
			8週	Lesson 19 関係代名詞 2	whose・what/that	
		4thQ		9週	前期中間試験	学習範囲の試験を行う。
				10週	中間試験答案返却、復習	中間試験の解説を理解し、理解度の低い項目の復習を行う。
11週	Lesson 20 関係副詞			関係副詞		
12週	Lesson 21 仮定法過去/仮定法過去完了			仮定法過去/仮定法過去完了		
13週	Lesson 22-23 その他の仮定表現/部分否定/準否定語			その他の仮定表現/部分否定/準否定語		
14週	Lesson 24-25 関係話法と時制の一致/接続詞など			関係話法と時制の一致/接続詞など		
15週	後期期末試験			学習範囲の試験を行う。		
16週	期末試験答案返却、復習、アンケート			期末試験の解説を理解し、理解度の低い項目の復習を行う。授業アンケートを行う。		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ その他 合計
総合評価割合	80	0	0	0	20 0 100
基礎的能力	80	0	0	0	20 0 100
専門的能力	0	0	0	0	0 0 0
分野横断的能力	0	0	0	0	0 0 0